

会員各位

十七世紀英文学会論集論文募集

論集編集委員会（2023.12.11）

今期編集委員会メンバーによる協議の結果、論集第21巻のタイトルを『十七世紀英文学と世界』（*Seventeenth Century English Literature and the Worlds*）といたしました。本巻のテーマとして「世界」を選んだ理由は、近年、グローバルな広がりの中で十七世紀英文学を捉える研究が増えていることでもあります。同時に、現代社会における自国中心主義、他国・他民族への侵略などの状況に、文学研究がどのように応答できるかということも意識しました。国際関係に留まらず、信仰／世俗、自国／異国、地理的・科学的発見、ディアスポラなど、幅広い意味で「世界」というテーマにアプローチした論考をお待ちしています。

近年の人文学をめぐる（厳しい）環境において、研究成果の出版は、研究者個人のみならず学会全体にとって非常に重要です。私たちの研究、そして学会の存在意義を広く知ってもらうためにも、ふるってご投稿くださいますようお願いいたします。

今号から、会員の皆様に予め執筆希望の有無を聞かせていただくことになりました。理由として、ここ数号、投稿期日までに原稿が集まらないことによる延期のため、期日通りに提出いただいた方々にご迷惑をおかけしてきたことなどがあります。そこで、他学会でも実施されている執筆希望を予め確認することで、円滑な出版ができると考えました。ぜひ、ご理解ください。あくまでその時点でのお考えでけっこうです（最終的に投稿ができなくてもけっこうです）。**2024年3月31日までに、各支部編集委員まで、電子メールにて〔所属、お名前、可能なら仮タイトル〕をご一報ください。**

投稿要領は以下の通りです。できるだけ当該タイトルと関連のあるテーマでのご投稿をお願いいたします。

執筆希望締切日：2024年3月31日

原稿提出締切日：2025年3月31日

刊行予定：2025年8月30日（予定）

送付先：各支部編集委員宛（下記Eメールをお願いいたします）

東北支部

川田潤 jun@educ.fukushima-u.ac.jp [編集責任]

佐々木和貴 zasaki0925@gmail.com

東京支部

富樫剛先生 gtgshgt@gmail.com

高根広大先生 kodai.t.1223@gmail.com

関西支部

西川健誠先生 kenseini@yahoo.co.jp

廣野允紀先生 simoneok.5628@gmail.com

以下に「編集規定」を添えておきます。2016 年度の総会での承認を受けて、「執筆料」および文字数超過に対する「追加料金」についての項目が追加されております。詳しくは下記の編集規定をご覧ください。また、今回も次の 3 点について、会員の皆様にご理解をお願いいたします。

1. 執筆者は 5 冊ご購入のこと。
2. 執筆者以外の会員は、各人 1 冊ご購入のこと。所属大学図書館でのご購入も積極的にご検討ください。
3. 金星堂のテキストをできるだけご採用ください。

十七世紀英文学会論集編集規定

1. 寄稿論文は未発表のものであることを原則とする。ただし、既発表の論文でも、編集委員会において本論集に収録することが望ましいと判断されたものは、この限りではない。
2. 原稿は A4 横書きとし、長さは註を含めて日本語の場合 16,000 字、英語の場合 8,000 words 程度であること。「引用文献」(Works Cited) は字数から除く。書式は 48 字×22 行に設定すること。なお、英語論文については、英文のネイティヴ・チェックを事前に必ず済ませていること。また投稿原稿は WORD のファイル形式とし、各支部編集委員宛に電子メール添付で送付するものとする。なお校正は、必要最小限の訂正しか認めないので、完全原稿で投稿のこと。
3. 図版・写真などは、著作権に関する問題がなく、またもし費用が生じる場合は執筆者が自己負担することを前提として、掲載を認める。なお希望者は、事前にその旨、所属支部の編集委員に伝えること。
4. 文献引用法その他書式の細目については、最新版 MLA Handbook に則るものとする。また、下記の点に留意すること。
 - (ア) 和文の場合、原則として引用文には邦訳を付ける。(邦訳のみでもよい)
 - (イ) 引用は 3 行以上にわたるときは、本文から分離する。
 - (ウ) 注は末尾にまとめる。注番号は、本文・後注ともアラビア数字とし、括弧で囲む。後注番号の次は 1 コマあける。
5. 投稿の際、編集委員宛の電子メール本文に、氏名、現在の所属ならびに連絡用の住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレス、そして日本語論文の場合は英文タイトルを記載すること。
6. 論集原稿の採択および編集は、編集委員会の責任において行うものとする。
7. 執筆者は従来通り買い上げ 5 冊に加えて、執筆料 1 万円を支払うこととする。ただし、学生会員には執筆料を課さない。また、字数は超過しないことが原則だが、万一超過した場合については、追加料金を課す。